

令和7年7月30日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 狩野 佳和
記録員 横山 愛
班 員 武田 正二
班 員 古澤 義弘

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日	時	令和7年7月12日(土) 10時～12時	
2 会	場	天童市総合福祉センター	
3 意見交換のテーマ		医療的ケア児について	
意見交換の内容 (議会・議員及び市 政に対する意見、 提言、要望等)		参加者の意見等	取扱
		1 医療的ケア児の避難訓練の実施について 医療的ケア児には様々な器具・装置が必要であり、災害時に電源が途絶えると危機的な状況に陥ることが予測される。その災害時にどんなフォローをするのか、何が必要なのかを知るためにも、地域の避難訓練に参加させてほしい。 まずは疑似的なモデルケースで一度実施し、その後内容が整ってから、ケア児本人が参加する避難訓練にすると安全・安心で、他の地域でも実施しやすくなるのではないかと。 モデル地区の設定など、行政、地域周辺の方が協力してくれる意志を示すことで、ケア児の保護者の方は安心できる。天童市は医療的ケア児の通学支援なども行っており、非常に心強いし、今後も期待している。	③

	2 医療的ケア児の卒業後の居場所について 現在、山形養護学校には小学校 10 人、中学校 13 人、高校 14 人在校している。在学中は学校とのつながりがあるが、卒業後の居場所が天童市にはない。 山形市には「ゆめ希」「ヤンバイダー」等の生活介護施設があり、入浴・ショートステイ・宿泊も可能だが、山形市在住の人が優先で数は足りない。 医療的ケア児は動き回ることではなく、広いスペースは必要としない。天童市内にも 5 名くらいの居場所があれば、地域との関わりができること、また介護保護者のレスパイトケアにもつながる。 明幸園や天童市民病院、健康センターの病児・病後児保育の部屋を開放するとか、どこかに居場所の設置をお願いしたい。	③
	3 共生社会 JOCA の推進について 宮城県岩沼市に、2021 年オープンの「JOCA ジョカ東北」という地方創生プロジェクトの「生涯活躍のまち」がテーマの天然温泉やウエルネス（健康増進施設）、そば処、保育園、障がい児・者のデイサービス・就労支援などの事業を展開している複合施設がある。 子どもから高齢者まで、障がいの有無や国籍を問わず、みんな「ごちゃまぜ」になって日常的につながり合える地域の拠点のようである。そんな施設が天童市にあるのが理想的だと思う。	①

議会報告・意見交換会における対応

【 5班 狩野佳和・横山愛・武田正二・古澤義弘 】

市民からの意見・要望	回答
医療的ケア児の避難訓練の実施について ・医療的ケア児には、電源が必要な様々な装置等あるので、災害時を想定した地域の避難訓練に参加させてほしい。	【担当課 危機管理室】 医療的ケア児の方の避難においては、避難スペースの確保のほか、医療用器具の電源の確保が必要です。現在の指定避難所においては、安定的な電源の確保が課題ではありますが、避難訓練は、避難経路や必要な支援を確認する上で有意義であると考えます。 医療的ケア児の方の症状は様々であり、必要な支援が異なることから、医療、福祉、保健などの関係者と訓練のあり方を模索してまいります。
医療的ケア児の卒業後の居場所について ・山形養護学校卒業後も在校時と同様に、本人とその家族の負担が軽減等されるような施設を天童市にも設置していただきたい。	【担当課 社会福祉課 】 現在、民間事業者が医療的ケア児に対応した障害児通所施設の開所準備を市内で進めており、医療的ケア児とその保護者の利便性が向上するものと期待しております。 一方、医療的ケア者に対応した生活介護や短期入所のサービスを提供できる事業所は、現在のところ市内にはありません。民間事業者と医療的ケア者を取り巻く環境を共有し、対応を検討してまいります。